

(1) 福島県沿岸の水産業

福島県の沖合では、南から流れてくる暖流「黒潮」と北から流れてくる寒流「親潮」の影響を受けるため、サンマやカツオ、アンコウなど100種類以上の魚介類が漁獲できます。漁の方法は漁業対象生物

に応じ、刺し網漁、まき網漁、曳き網漁、カゴ漁、筒漁など多種多様です。サンマは、光に集まる習性を巧みに利用した棒受け網漁により漁獲しています。

福島県では、持続可能な資源の

利用をするため、漁業期間や漁獲サイズを限定したり、稚魚を育て放流する事業を展開するなど、海の漁業資源を守る努力をしています。



▲サンマの水揚げ



▲水揚げされたマイワシ

(2) 福島県の沿岸底棲魚

福島県の沿岸では、ヒラメやカレイの仲間、マダコ、アナゴ、アワビ、ウニなどが漁獲されます。それぞれの魚種にあった漁法を用いますが、ヒラメやカレイの仲間は底曳網や刺し網、マダコはカゴ漁、アナゴは主にアナゴ筒と呼ばれる細長い筒などで漁獲します。

また、アワビやウニのように沿岸の浅い磯にすむ生物は、実際に潜って岩からはがしとる潜り漁や磯舟の上から箱眼鏡で水中をのぞきながら、竹竿の先についた先の広がった道具ではさんでとる見突き漁などで漁獲しています。



▲水揚げされたハバカレイ